8　抱返り巫女岩伝説

いつごろのことかわからないが、その昔田沢の鳩留尊仏から駒の寺（駒ヶ岳）、発鳥山とお参りをした山伏と巫女の二人連れが大影山、小影山の峰を渡って、抱返りに着いた。彼らが目指すところは白岩峰の薬師であった。抱返りの明神堂（抱返り神社）に詣でた二人は、川を渡ろうとしたが雨の後で水嵩が増し、川は渡れそうにない状態であった。

そこで山伏は川の浅瀬を探りながら渡り、巫女にもなんとか渡らせようとしたが、水はますます増え続けてきて渡ることなどとても出来ないようになったのであった。二人はお互いの名を呼びあっていたが、水の勢いはますます増し、一向に納まりそうもなかった。そこで巫女はさっきお参りした抱返り明神に一心不乱に祈願したところ、不思議に水は減水してつい先程の大洪水は夢のように引いてしまった。この御利益のあらたかさに巫女は感激のあまり巨石となった。これを対岸から見ていた山伏も驚きと感激のあまり巨石になったと伝えられている。



抱返りの「巫女岩」